

# くま小通信

第5号 令和3年5月18日  
 名古屋市立熊の前小学校  
 名古屋市緑区亀が河一丁目901番地  
 TEL: 052-878-1600  
 http://www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp



各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。  
 (1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成→【①自ら学ぶ力】  
 (2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成→【②思いやり・社会性】  
 (3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成→【③心身の健康】

## 本年度の学校運営について(学校説明会に代えて)

4月22日(木)に予定していた学校説明会は、蔓延防止等重点措置の対象地域となったため、中止としました。説明会でお伝えするはずだった内容について、ポイントを絞ってお伝えします。

### 学校教育目標

①基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成

昨年度から全面実施の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が求められています。本校では、名古屋市がその実現のために示した授業作りモデル「なかまなビジョン」を重視し、対話を通して主体的に学ぶ子の育成を目指します。

②思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成

令和元年度まで努力点に設定していた「特別の教科道徳」における「考え、議論する道徳」に引き続き重点を置くほか、毎月第1週を「スマイルいっぱい熊の前ウィーク」とし、いじめのない学校作りを目指します。また、学校生活委員会や代表委員会を中心とした挨拶運動の取り組みや、保健委員会の「ふわふわ言葉」等、様々な取り組みを通し

### 学校努力点

て、思いやりの心、社会の一員としての自覚を備えた子の育成を目指していきます。

③生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成

5月の熊の前スポーツデーや、3学期の長縄大会等、今年度も体育的行事の充実を図ります。また、学校努力点として食育に取り組みます。さらに、子どもたちの心身の状態を把握するために、アンケートや教育相談を定期的に行ったり、毎月初めに「こころと体のチェックリスト」に取り組んだりして、問題の早期発見に努めます。

これら3つの学校教育目標を平易な言葉で表した校訓「まじめに、まろく・まえむきに」を、子どもたち、保護者の皆様も含めた熊の前小に開く全員の共通の目標とし、みんなで達成に向けて進んでいきたいと考えています。

くま小通信第1号でもお伝えしましたが、令和3年度は、「食を通して、よりよく生きようとする児童の育成」食について知り、考え、発信する学習を通して「〜というテーマで、食育に取り組んでまいります。昨年度の成果と課題を基に、各学年では、発達段階に応じた系統的な食育の学習の計画が進められています。また、昨年度同様、日常の給食指導の中でも、子どもたちの食に対する知識や考えが深まるような取り組みを継続してまいります。また、食育に関する動画「給Tub e」や、1階のふれあいホールにある設置された食育掲示板の更なる充実を目指します。

さらに、保護者の皆様にご好評いただいた行事の際の特設コーナーや、個人懇談会の際に玄関ホールに設置した食育相談所、PTA主催の家庭教育セミナー等、子どもたちだけでなく、保護者の皆様にとっても価値のある取り組みにしていきたいと考えています。【①自ら学ぶ力】【③心身の健康】

## 感染症対策と教育活動の両立

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年度は約2か月の休校がありました。夏休みや冬休みが短縮されたほか、木曜日に6時間授業を実施するなど、大きな変化がありました。また、日々の授業においても、子ども同士が密接する活動を避けたり、対面での話し合いを短時間にとどめたりする等、名古屋市が示したガイドラインの中で、様々な工夫をしながら教育活動を進めてまいりました。学校行事の在り方も、3密をできる限り回避するため、大きな見直しが必要でした。

今年度も、引き続き感染症への対策が求められます。「感染症対策」と「充実した教育活動の実現」の両立には難しい部分が多くあります。子どもたちの学びを深めるためには、対話の時間を十分に設けたい

ところですが、感染リスクを考えると短時間で済ませなければなりません。学校の一体感を感じられる貴重な経験の場となる全員での運動会を実施したいところですが、これも現状、かないません。

ただ、感染症対策と教育活動の充実は、必ずしも対極ではないはずで、熊の前小学校では、「コロナ渦だから無理」と、初めから諦めるのではなく、「コロナ渦でもできること」「コロナ渦だからできること」を探る努力をしたいと考えています。感染状況等によっては、中止を余儀なくされるもの、中止すべきものもあるかと思いますが、子どもたちにとって価値の高い教育活動の実現のため、できる限り、感染症対策との両立を模索してまいります。

保護者の皆様におかれましては、今年度も、本校教育へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。【①自ら学ぶ力】【②思いやり・社会性】【③心身の健康】



# 心のケアを重視します

新型コロナウイルスの影響で、社会全体が漠然とした不安に包まれています。そんな中でも元気いっぱい生活する子どもたちの姿にパワーをもらおう今日この頃ですが、中には不安を強く感じやすい子どももいます。

本校では、子どもたちの心のSOSにいち早く気付くため、全児童を対象に、年に2回のアンケート調査を実施し、6月には、児童一人一人が担任と話をする教育相談を設定しています。また、4～6年生を対象に、年2回の学校生活アンケート（Hyper-QU）を行います。また、それに加え、昨年度からは毎月最初に「こころと体のチェックリスト」を実施

しています。

以上の取り組みを中心に、子どもたちの心の状態の把握に努めてまいります。しかし、学校での取り組みや日々の観察、アンケートだけでは、全てを捉えきけることはできません。ご家庭で気になることがある場合は、すぐに担任までお知らせください。

今年度から、スクールカウンセラーの来校日が昨年度に比べておおよそ倍増しています。心の問題は、早期発見・早期対応が、解決への近道です。「この程度で相談していいのだろうか」と思わず、ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。お子さん本人の相談はもちろん、保護者のみの相談、お子さんと保護者の方での相談など、ご要望・状況に応じてカウンセリングが可能ですので、お気軽にお尋ねください。

## 【③心身の健康】

☆スクールカウンセラーに関するお問い合わせ、予約については、教頭の山田までお願いします。

## 今年度の主な変更点について（再掲）

昨年度「くま小通信」17号（2月16日）裏面に掲載した、令和2年度からの主な変更点と、その詳細について、加筆・修正を加えて再掲します。

### ① 5・6年の委員会活動は、前期4回、後期4回の、年間8回行います

令和2年度は、4・5月の休校により不足した授業時間を補うため、3～6年生は木曜日を6時間授業としており、そのうちの年間6回を委員会活動に充てていました。委員会活動がある日は、3・4年生を5時間授業とし、5・6年生のみが6時間目に委員会の活動をする形でした。

令和3年度は、原則、木曜日は全学年5時間授業です。委員会のある年間8回のみ、5・6年生が6時間目に委員会活動を行い、15:30に下校します。

### ② 授業参観・学級懇談会、個人懇談会について

授業参観は、6月・10月・2月に行います。学級懇談会は、4月と2月に行います（4月は中止しました）。授業参観や学級懇談会については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、内容や日程を決定します。現時点では明確な日にちが確定していない部分があることをご容赦ください。

なお、個人懇談会は、7月と12月の2回、行う予定です。

### ③ 中津川野外学習は、1泊2日です

3年度は、同時に施設を利用する人数を制限するため、名古屋市全体で1泊2日となりました。

※ 5月に予定していましたが、延期となりました。今後、詳細が分かり次第、お伝えします。

### ④ 熊の前スポーツデーを開催します

十分な感染症対策をしての運動会開催は難しいと判断し、令和2年度と同様に学年ごとに分散した形での体育の授業参観「熊の前スポーツデー」を予定しています。詳細については、4月28日配付の「熊の前スポーツデー」をご覧ください。

### ⑤ その他

- ・ 学芸会は、上演時間の短縮、参観の分散等、感染症対策を講じて実施する予定です。
- ・ 給食試食会については、10月1日（金）に、1年生保護者向けに行う予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況を見て、開催の可否を慎重に検討していきます。5月19日（水）に行う予定だった2年生保護者向けの試食会は、見合わせました。今後、延期して開催するか否かについては、現状では未定です。
- ・ 2年度の学習指導要領改訂では、各教科で育成する資質・能力が見直されました。それらを子どもたちの学習状況から適切に見取るためには、授業日数に偏りのある学期ごとではなく、前半・後半の大きなまとまりの中で評価することが望ましいと考え、今度同様、通知表の配付を、10月と3月の2回とします。なお、7月と12月の個人懇談会においても、お子さんの学習状況について、担任から報告させていただきます。